

重点項目についての環境配慮概要									内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。													
“ストップ温暖化しづおか行動計画”的推進(Global Warming)													
	■室内環境対策 (①室温制御/②日光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ①外壁U=0.8、屋根U=0.5、開口部U=5.8、SC=0.6程度 ④外壁:ガルバリウム鋼板20年程度 ④床:モルタル20年、壁・天井:PB+VP20年	Q-1 2 2.1 2.1.3 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 日光利用設備 3.2 3.2.2 ③ 日光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.2 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.3 ④ 配管・配線材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 主要設備機器の更新必要間隔											
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構面積の39%を緑化 ⑥緑被率33%	Q-3 1 ⑤ 生物環境保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上											
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦必要部位に断熱材を設置し、建物の熱負荷抑制に配慮 ⑧効率の良い機器の採用	LR-1 1 ⑦ 建物の熱負荷抑制 2 2.1 ⑧ 自然エネルギー直接利用 2.2 ⑧ 自然エネルギー変換利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制											
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪ガス系消火剤の使用なし	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム 1.2.2 ⑪ 雜排水利用システム 2 2.1 2.1.1 ⑫ 軸体材料の再利用効率 2.1.2 ⑫ 非構造材料の再利用効率 2.2 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.3 ⑫ 有害物質を含まない材料 2.4 ⑫ 既存建築軸体などの再利用 2.5 ⑫ 部材の再利用可能性 2.6 2.6.1 ⑫ 消火剤 2.6.2 ⑫ 断熱材 2.6.3 ⑫ 冷媒											
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) ⑬緑被率33%	LR-3 5 ⑬ 温熱環境悪化の改善											
	“災害に強いしづおか”的形成(Disaster)												
		■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭静岡県地域係数Z=1.2以上 ⑮非常用発電設備の採用	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑭ 耐震性 2.1.2 ⑭ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑮ 空調・換気設備 2.4.2 ⑮ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑮ 電気設備 2.4.4 ⑮ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑮ 通信・情報設備										
	“しづおかユニバーサルデザイン”的推進(Universal Design)												
		■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯階高5.7m ⑯壁長さ比率0.05<0.1	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑰ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑯ 階高のゆとり 3.1.2 ⑯ 空間の形状・自由さ										
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲防犯性の配慮	Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上											
“緑化及び自然景観”的保全・回復(Nature)													
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ㉑建物の配置、形態等がまちなみ・景観への配慮 ㉑緑被率33%	Q-3 1 ⑳ 生物環境保全と創出 2 ㉑ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ㉒ 敷地内温熱環境の向上											
■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) ㉓緑被率33%	LR-3 5 ㉓ 温熱環境悪化の改善												